

「戦争する国づくり」へまっしぐらの高市政権 “日本のかじ取りは任せられません” 審判をくだそう

自民党と維新の会との連立合意を受け、高市早苗新内閣が発足しました。「戦後」を根底から覆す極右政権の登場です。連立合意によって「憲法9条改定」と「緊急事態条項」に関する「条文起草委員会」を設置し、戦争する国づくりの具体化を図ろうとしています。

戦後80年、平和憲法で、戦争はしないと世界に誓って経済発展した日本です。しかし、高市政権は「安保3文書の前倒し改定」「長射程ミサイルの導入・開発」と「全国への配備」など大軍拡のスピード化を図り、それを支えるべく防衛費のGDP比2%の2年前倒しを打ち出しました。さらに、「武器輸出を認める5類型」の撤廃、「スパイ防止法の制定」も打ち出しています。

11月7日の国会で台湾有事を巡り「存立危機事態」と答弁しました。これは、中国に対し「いざとなれば

戦争する」と発信したと受け止められ、台湾海峡を巡って極度の緊張状態になっています。

高市総理は、通常国会冒頭に解散する暴挙に出ました。「女性初の総理」「責任ある積極財政」をアピールし高い支持率を得ています。しかし、内実は通常国会で与野党から政策と予算の整合性を追及されるのは必至で、ボロが出るのを回避する究極の「党利党略」解散です。

高市政権は、アメリカ言いなり、大企業優遇、社会保障制度改悪など、戦争国家体制づくりへまい進しています。いま、日本は「憲法を守って平和外交を進めるのか」「国民主権の政治にするのか」その岐路にたっています。非常に危険な分かれ道です。

各地で市民が声をあげ一斉に立ち上がり、選挙で“高市政治は容認出来ない”の審判を下しましょう。

ご案内の通り、今年から「平和新聞」は月2回（第2、第4金曜日）発行に変更されました。紙代は従来と同じです。ご理解をお願いします。

高市首相の「台湾有事」発言に抗議した「市民アクションいしかわ」の皆さん

12月19日＝金沢エムザ前



石川県原水協の伝統行事「元旦署名」が、1月1日に尾山神社前で取り組まれ、初詣に訪れた人たちに「核兵器廃絶・日本政府は核禁条約に署名し批准を」と署名の協力を呼びかけました



北陸原水協学校 オンライン開催

1月24日(土) 13時30分～16時

- 視聴会場 ①石川県平和と労働会館1F
- ②上荒屋の「えがお」
- ③若草町の「みのり」
- ④新婦人事務所（瓢箪町）

■プログラム 被爆者の証言。講演「非核日本キャンペーンⅡ～被爆者の声を世界に」。各県からの活動報告

県平和委員会は、秋に行なわれる沖縄県知事選挙に向け、5月～6月に2泊3日の「支援ツアー」を計画しています。レンタカーで嘉手納基地や辺野古新基地建設現場、瀬長亀次郎記念館などを訪ねます。問い合わせは山野健治代表理事＝090-2121-9741へ。

2026年 新春のつどい

春を呼ぶ 平和コンサート

1月31日(土) 13時半～15時半
平和と労働会館3階（金沢市昭和町）

李彩霞さんの2胡演奏と川崎正美・草汰親子によるフォーク「雪のちゃんぶる」との初コラボです。

「憲法9条を守るか戦争する国づくりか」「民主主義か独裁政治か」を問う衆議院選挙を控え、私たちの志を示す「つどい」です。県平和委員会など、県内の民主諸団体が構成する実行委員会が主催。



(ウラにつづく)